

患者さんへの臨床研究のお知らせ

臨床研究「膵頭十二指腸切除術周術期成績（術後合併症）の実態調査と危険因子の抽出」について

自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、当院での診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われます。人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に従い、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記「問い合わせ先」へご紹介ください。

《研究目的》

腹部外科手術の中でも膵頭十二指腸切除術は難しい手術であり、術後の合併症の中には、重症の腹膜炎になるものも含まれています。さらに最近では、社会の高齢化に伴って、生活習慣病や持病を持った患者さんが手術を受けることが多くなっています。術後合併症の起こりやすさを術前に推定できれば、より綿密な術前の準備、術後管理を行えるようになり、ひいては、患者さんの術後の入院期間の短縮に貢献できるものと思われます。本研究では、術前の血液検査の結果、CT検査の結果などから、合併症の起こりやすい患者さんを予見できるような因子を明らかにすることを目的とします。

膵頭十二指腸切除術の周術期治療成績の向上のために、術後合併症の実態を明らかにするとともに、その高危険群を同定し、周術期治療成績の向上に役立てることを目的としております

《研究対象》

2005年1月以降に当院で施行した膵頭十二指腸切除術を受けた、20歳以上の患者さんです。

《研究方法》

患者さんの病歴、血液検査結果、画像検査結果などを診療録から取り出し、下記項目などを検討します。

- ①治療開始前の画像検査における、動脈硬化の程度
- ②術後合併症の種類、それに対する治療
- ③術後入院期間

上記に該当する患者さんの情報は、個人の特典ができない形で、本研究（学会発表や論文発表を含む）に使用させていただきますと考えています。発表に際して患者さんの個人情報保護は保護されます。また、新たに検査や費用の負担が生じることはありません。しかし、ご自身の情報が本研究に使用されることに同意されない場合には、下記問い合わせ先にご連絡ください。

問い合わせ先：

自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科 病院助教 柿澤 奈緒
〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847
電話 048-647-2111（代表）